

光通信・センシングの世紀を偏波で築く。

偏波保持ファイバ接続用パッチコードシリーズ



光通信の高速・大容量に伴い、偏波管理に対する要求は日々高度化しています。またセンシングなどの非通信分野でも、偏波技術を用いた数々のアプリケーションが提案されています。

こうしたさまざまな要求にお応えするために、PMCCのラインナップが一層充実、対応波長も拡大しています*。さらに先進的なアプリケーションをお考えのお客様には、スペックはもとより周辺部品のご提案もさせていただきます。

偏波管理のキーデバイスをご提供する一米沢電線にご期待下さい！

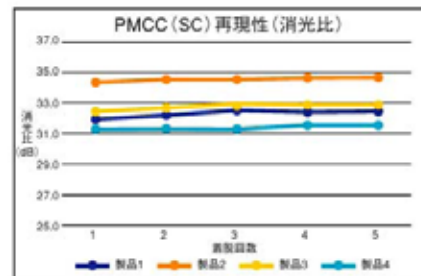
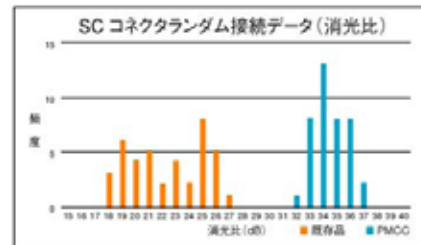
*詳細はお問い合わせ下さい

Polarization

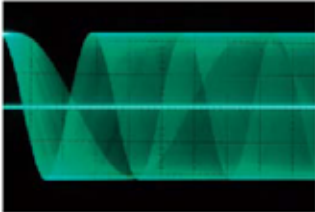
Maintaining fiber

Coupling

with Connectors



米沢電線の高精度偏波技術が可能にする、次世代アプリケーション



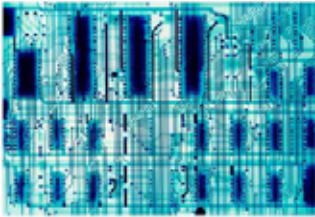
超高速LN光変調デバイス

10Gから40G、そしてその先へ。次世代ネットワーク構築の鍵となる、超高速LN光変調デバイス。その性能を決める優れた直線偏光を、PMCCシリーズが実現。結合効率と直線偏光性の両面から、光変調デバイスの持つ性能を最大限に引き出します。高消光比のビグテールによる高効率カプリングをご体験下さい。PMCCは光通信の未来を創ります。



温度、歪み、振動など、光ファイバ偏波変動センサ

世界的なセキュリティ・マネジメントの高まりに対し、光ファイバセンサが注目を集めています。なかでも偏波保持ファイバを用いた偏波変動検出型のファイバセンサは、高時間分解能により位置精度の高い計測が可能です。PMCCシリーズによるセンサネットワーク構築は、その性能をより一層向上させます。建築物、各種施設や地中、河川など、PMCC活躍の場は、光通信にとどまりません。



広帯域ラマン増幅器、半導体光増幅器

リング、メッシュ、バースト、バケット…波長マネジメントもアーキテクチャも、日々高度化する光ネットワークに対し、広帯域・高出力な光増幅技術が求められています。PMCCシリーズの優れた直線偏光は、広帯域ラマン増幅器のカプリングを確実なものにし、量子レベルの制御が必要な次世代型半導体増幅器の微小な光学系でも真価を発揮します。「PMCCで見えてくる動作」があります。

PMCCシリーズ周辺部品



レセプタクルモジュール

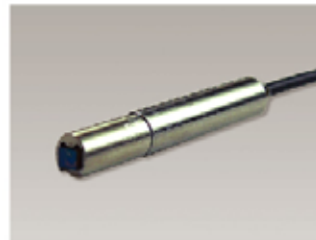
SCレセプタクルモジュール (APC研磨品対応で安定した接続再現性を実現。消光比の出力値も保証可能)

- 対応波長:1550/1310/850nm
- 対応ファイバ:SMF/PMF
- 対応研磨:UPC/APC
- 接続損失:0.5dB以下 ■再現性:0.1dB以下
- 反射減衰量:55dB以上 (UPC)/65dB以上 (APC)
- 消光比:20dB以上 (SMFタイプ)

※接続損失、再現性及び反射減衰量は1550/1310nm波長にて

※消光比30dB以上対応可能

※消光比に関しては弊社PMCCと接続時の値



偏光子付SUSフェルール

偏光子付きSUS (PMF光学軸に対し高精度に偏光子をアクティブ調心した製品です。光源デバイス組立時等、θ調心の必要が無く高消光比が確保出来ます)

- 対応波長:1550/850/630nm
- 消光比:33dB以上
- 逆端コネクタ種類:SC/FC/MU/LC